

工業技術基礎

教科	工業（建築インテリア）	単位数	3	学科・学年	建築インテリア科 1年
使用教科書	工業技術基礎（実教出版）				
副教材等	担当教員が配布するプリント				

「工業技術基礎」はどんな科目？

建築インテリアの工業技術で必要な基礎知識や基本的な技術・技能が身につくように学びます。すなわち、建築の基礎とインテリアの基礎を総合的に学習します。

「工業技術基礎」の学習の特徴は？

「CAD」、「建築模型」、「木材加工」、「立体造形」の4つの講座に分かれて行き、年間をローテーションします。総合的な知識・技術を身につけます。

「工業技術基礎」で大切なこと（留意点）は？

一番大切なことは「安全作業」です。特に工作機械を扱う授業ではケガをしないように服装を正して、素直に取り組む心構えが大切です。

また、実習でケガをしたり、休んでしまうと、他の人よりも作業が遅れてしまうので、実習を休まないように体調を管理し、安全には十分注意し、真面目に授業に取り組む姿勢が大切です。

1. 学習の計画（どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。）

	学 習 内 容 (単元名)	学 習 の ね ら い
4パート編成で、4講座をローテーションする。	① CAD ・基本図面の作図 <定期考査>	・JW-CADの基本的な操作が理解でき、図面を書くことができる。
	② 建築模型 ・平屋建専用住宅の軸組模型 <定期考査>	・模型を製作しながら部材の構成や位置関係を理解できる。
	③ 木材加工 ・手加工の基礎、接ぎ手加工（相欠き） ・鉋仕上げ加工 <定期考査>	・額縁の製作を通して、手工具の扱い方を中心に家具製作に必要な知識、技術・技能を学ぶ
	④ 立体造形 ・立体の表し方 ・クラフト <定期考査>	・立体の投影法を理解する。（正投影図、斜投影図、等角投影図、透視図） ・ペン立ての制作を通して、図面を理解することと、用具の使い方を習得する。

2. 評価の観点・方法（及び年間の評定）

評価は4つの観点から行います。

関心 意欲 態度	・工業技術に関心を持ち、技術・技能の向上を目指して意欲的に取り組む態度を身につける。	・授業態度 ・提出物 ・出欠状況 ・服装
思考 判断 表現	・工業技術に関する諸問題の解決に取り組み、基本的な技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付け、その成果を的確に表現する。	・定期考査 ・作品点 ・質疑応答
技能	・工業の各分野に関する基礎的、基本的な技能を身につける。	・作品の仕上 ・授業の実技
知識 理解	・基礎的、基本的な知識を正しく理解できる。	・各種考査 ・製作過程 ・レポート等

このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。

- ① CAD
作品製作に取り組む姿勢、使用器具の取り扱い、作品の仕上がり
- ② 建築模型
作品製作に取り組む姿勢、作品製作の技術、作品の仕上がり、部材の構成や位置関係の理解
- ③ 木材加工
作品製作に取り組む姿勢、作品製作の技術、作品の仕上がり、安全作業に対する心構え
- ④ 立体造形
作品製作に取り組む姿勢、作品製作の技術、作品の仕上がり、創造性と感性

また、1年間の評定は年間を通じて、4つの講座の評価を総合的に判断して決定します。

3. 特に強調しておきたい点（留意すべき点・担当者からのメッセージを含む。）

工業技術基礎は、工業高校の上級学年へ向けての基礎・基本が習得できる科目です。
また、建築インテリア科の生徒として自覚ができ、学習態度・意欲が身につく大切な授業です。精一杯体を動かして、基礎・基本の技術・技能を習得しましょう。